

教 科	外国語	科 目	英語コミュニケーションⅡ
履修条件 対象生徒	必修科目 デザイン科 2 学年		
学習目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方、考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成する。		
学習方法	〔授業〕 ・ 予習をして授業に臨むこと。予習の段階で出てきた問題点を授業中に解決するという意識をもって、集中して授業に取り組むこと。板書、口頭による説明等をノートに書き留める。教科書のQRコードを使って、新出単語の発音や音読の練習にも積極的な態度で取り組む。 〔家庭学習〕 ・ その日の授業内容を復習する。続いて次時の予習をする。新出単語や意味の分からない言葉は辞書で調べておく。本文の内容も可能な限り理解しておく。 〔補習・その他〕 ・ 与えられた補助教材を活用して、自主的かつ意欲的に取り組む。		
学習計画 と ね ら い	< 1 学期末考査まで > オリエンテーション Lesson 1 World Dance Performances Lesson 2 A Piece of Cake Read On1,2 < 2 学期末考査まで > Lesson 3 Quokka Lesson 4 Designing Stamps Read On3,4 < 学年末考査まで > Lesson 5 Mont-Saint-Michel Read On5 ○授業の進め方, 予習・復習の仕方の説明 ○動詞＋目的語＋to不定詞、疑問詞＋to不定詞 ○疑問詞で始まる節、ifで始まる節 ○言語・異文化理解 ○知覚動詞/使役動詞、生物、自然、地球環境 ○形式主語 it、形式目的語 it ○人物、職業、社会貢献 ○現在完了進行形、過去完了形、過去完了進行形 ○世界遺産、自然、文化		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に向かう態度
	本文で扱った言語材料を理解し、それらを用いて正しい文を書いたり、やりとりをすることができる。本文に関するテーマについて聞いたことをふまえて自分の意見を書いたり、伝え合うことができる。	自分の気持ちや考えを伝えるために、本文で扱った言語材料を用いて短い文を書いたり、ペアで話し合ったりすることができる。意見交換ができるように学習した語彙や言語材料を用いて自分の意見を話したり書いたりできる。	自分の考えを述べたり、意見交換ができるように必要な情報を積極的に得ようとしている。自分の意見を発表するために、必要な情報や考えを整理して書こうとしている。情報や考えを整理して発表したり、クラスメートの発表を聞いて質問や感想を伝え合ったりしている。
評価方法	ループリック評価表を利用するなどして、評価の観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に向かう態度」の3つの観点から、授業態度、テスト結果、提出物などの学習活動を総合的に判断して評価する。		